

# 聴き合う



## 奥間っ子

奥間小学校  
第42号  
校長 久高利美子

〈めざす学校像〉

### 学ぶことが楽しい学校

あいさついっぱい 花いっぱい  
友だちいっぱい 読書いっぱい



三学期始業式の校長講話の中で、植村努さんのお話を引用してはじめについてお話ししました。「自信がないから証拠がほしくなる。それがいじめだと。がんばれないと人の時間、心をうばうようになる。」人間は他人の気持ちがあがっていき、わかる努力、伝える努力が必要になる。」と。

奥間小学校は「学ぶことが楽しい学校」を目指しています。みんなが安心して学べるように、「聴き合う（友だちの話を目と心でしっかりと聴いてあげる）」を徹底していこうと子どもたちに伝えていきます。三学期は「みんなの約束」自分がされていやなことは、人にしない「言わない」も徹底していこうとお話しています。二学期のアンケート結果からも課題としてあがっていることです。ご家庭でも子どもたちとじっくりお話しして下さいますようお願いいたします。

**自信がないから  
証拠をほしくなる**  
↓  
**なかまはずれ（いじめ）  
がんばれないとうぼうよ  
うになる**

**人間は他人の気持ちが  
わからない  
（だから）  
わかる努力 伝える努力  
が必要**

（奥間小の約束）  
**聴き合う  
友だちの話を目と心で  
しっかりと聴いてあげる**



一月二十六日（火）岩美町へ向けて出発した訪問団が、二十九日（金）元気に帰ってきました。長旅にもかかわらず、全員爽やかな笑顔でバスをおりてきました。那覇からの車中でもみな元気だったようです。たくさんさんの体験談を持ち帰ってきたメンバー、これからの学校生活に活かしてほしいです。

**1月のファミリー読書**  
四年 宮城杏太郎  
「カビのふしぎ」  
カビのふしぎを読んで思ったことは、しょうゆやみそがかびからできてることにおどろきました。パンやみかんにきたないカビが生えていました。カビにはいいのや悪いのがあるのを知りました。  
（お家の人からのコメント）  
カビの写真、きたなく見えたけど、読んでいくうちに、カビと人間は、となり合わせに生きているということがわかったね。人間の体に悪いカビとよいカビがあることを知ったね。